

食生活ジャーナリストの会30周年記念シンポジウム

食・健康・科学 をどう伝えるか

～ジャーナリズムのあり方を考える～

シンポジウム概要

【基調講演】

- 村中璃子氏（京都大学大学院医学研究科非常勤講師）
「子宮頸がんワクチン問題から考える、これからの科学報道」
- 小松理虔氏（地域活動家・いわき海洋調べ隊「うみラボ」共同代表）
「福島の『食の安心』はどこにある？ ～港町の現場から～」

【パネルディスカッション】

- パネリスト講演
村上紀子氏「食生活ジャーナリストの会にとって〈食と科学〉は最重要課題の一つ」
畑中三応子氏「〈体にいい食べ物〉の流行を明治時代からたどる」
小島正美氏「なぜ多数派科学者の意見が記事に反映されないのか」

コーディネーター：小山伸二（辻料理教育研究所 メディア・プロデューサー）

司会：村松 真貴子（元NHKキャスター、フリーアナウンサー、エッセイスト）

一般2,000円（JFJ会員・JAJA会員・学生無料）

2019 **10/30** WED 13:30～17:30
(13:00受付開始)

主催：食生活ジャーナリストの会（JFJ）
協賛：守れる命を守る会

東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール

東京都文京区
弥生1-1-1

食生活ジャーナリストの会 事務局 / TEL 042-554-3887 / E-mail jfj-shoku@t-net.ne.jp

お申込み



<https://forms.gle/LzzxW3L8e7bikU6j6>